

2025年度 ICTを利活用した質の高い教育を実現するための全学的な計画

AIの飛躍的進化等に伴い、社会のあらゆる領域で情報化が加速度的に進展し、ビジネスや生活に大きな影響を及ぼすようになっています。大阪経済法科大学では、デジタル化が急速に進む社会で情報を駆使して活躍することができる人材を養成するための体制整備を進めています。政府のAI戦略やデジタル化の政策等を踏まえ、DX推進支援室は、ICTを利活用した質の高い教育を実現するため、ICTの環境の整備、技術支援・教育支援体制の整備、セキュリティへの対応等、全学的な教育DXの取り組みを推進します。

<計画内容>

- ① 2025年度は、花岡キャンパスにおけるBYODの運用とサポートの充実を図るとともに、八尾駅前キャンパスにおけるBYOD開始の準備を進めます。
- ② 全学的なDX推進の取り組みの基礎となる「いつでもどこでも学べる」環境を充実させ、必要な環境整備を進めます。
- ③ 教育DXを推進し、教育におけるICTの活用を一層進めます。
- ④ 学生サービスのDX、事務業務のDXを推進します。
- ⑤ ICT環境の計画的な整備・更新を進めるとともに、ICT環境の安全かつ安定的な稼働のため、セキュリティ対策を強化し、日々の監視等の適切な運用管理に努めます。
- ⑥ 教職員の効果的なICT活用の推進に向けて、教員・職員それぞれに応じた研修等を実施します。

DXによる効果的で質の高い学修の実現に関する取組

DXによる効果的で質の高い学修の実現に関する取組として、2025年度については基本情報技術者試験の合格を目指す学生に対して、以下のカリキュラムを策定・実施しています。

1. カリキュラム内容

- 経営学部専門教育科目「情報技術論A」「情報技術論B」「情報技術論C」（経済・法・国際学部の学生も他学部履修可能）
- 特修講座（Sコース）「基本情報技術者講座」（オンライン講座）

→ 対面授業とオンライン学習の併用により教育効果を高めるカリキュラム

2. カリキュラムの目標数値について

このカリキュラムでは以下の目標数値を設定しています。

- ・受講者のうち、プログラム完了率80%以上（アウトプットに関する指標）
- ・プログラム完了者のうち、基本情報技術者試験合格率50%以上（アウトカムに関する指標）

※対象科目の出席率80%以上かつWEB講座70時間以上学修